

上越市立図書館 読書週間推薦

こどもの本ブックリスト 2016

～小学生向け～



10月27日～11月9日は
読書週間です

【イラストマークについて】

対象となる年代を、以下のマークで表しています。マークは本の背表紙にはってあります。

- 小学校低学年～ いちご ■小学校中学年～ さくらんぼ ■小学校高学年～ ぶどう
- おはなし・物語ではない本 木

いちご 小学校低学年

交番のヒーロー

如月かずさ/作 田中六大/絵 講談社 2016 317

ナオトは、昔むかしとなりにすんでいたママ兄にいちゃんくうぜんと偶然ぐうぜん出会であいます。かっこよくてやさしかったママ兄にいちゃんくうぜんは、おまわりさんおまわりさんになっていたのです。

“おまわりさん”と“刑事”けいじの違ちがいや、おまわりさんおまわりさんの仕し事ごとについて、お話はなしを通とおして理り解かいできる1冊さつです。

へろりのだいふく

たかどのほうこ/作 たかべせいいち/絵 佼成出版社
2003 913 タ



村でコワモテのヤギマロ先生せんせいはお習字しゅうじの先生せんせいです。実はこっそりみんなが失敗しっばいした紙かみをごはんに食べていたのです。

ある日、これまでに食べたことのないおいしい紙、へろり紙へろり紙に出会であいます。

それがヤギマロ先生の不幸ふこうの始はじまりだったのです…。

ペットのきんぎょがおならをしたら…？

マイケル・ローゼン/作 トニー・ロス/絵
ないとうふみこ/訳 徳間書店 2016 933 ロ

子犬こいぬがほしかったエルビーが飼かうことになったのはきんぎょ。「フワフワ」という名前なまえをつけて、犬の芸げいをおしえます。とっくんのおかげで、おしりからぷくっとおならのあわをだせるようになりました。「フワフワ」は、たし算さんもできるし、曲きょくのえんそうもおならでしちゃいます。

こんなきんぎょ、あなたもほしくない？！

りすのスージー

ミリアム・ヤング/ぶん アーノルド・ロベル/え
大日本図書 2010 933 ヤ

あばれんぼうのあかりすたちに家をとられてしまったスージー。こまったスージーは、ようやく見つけた古い家のやねうらでおもちゃのへいたいに出会であい、一緒いっしょに生活せいかつをはじめますが、自分じぶんの家に帰かえりたくて…。はたして、無事ぶじに自分の家に帰かえることができるのでしょうか。

アーノルド・ロベルのかわいい絵えも楽しみながら読よんでみてください。

いのちをいただく

内田美智子/文 諸江和美/絵 佐藤剛史/監修
西日本新聞社 2009 648 U648

食事とは「命をいただく」こと。いつも食べている食材もはじめから食材だったわけではありません。生きていた命をいただいているのです。

お話は、食肉加工の仕事をしている坂本さんと息子との話を中心に進みます。ぜひ、ご家族で読んでください。

三年一組、春野先生！

くすのきしげのり/作 下平けいすけ/絵 講談社 2016
913ク

担任の先生が入院している間、代わりの先生として3週間だけ3年1組にやってきた春野先生。俊輔は、春野先生と学校生活を過ごしていく中で、何事にも前向きに立ち向かっていくようになります。そして、俊輔たちに起こったミラクルとは…？

とても前向きな気持ちになれる1冊です。

動物の见ている世界

ギヨーム・デュプラ/著 渡辺滋人/訳 創元社 2014
481

ネコは夜でも目が見えるけど、赤い色はわからない。ウシは後ろまでよく見えるけど、なぜか正面が見えない。ハチは5つの目でものを見る。ミミズは…何が见えている？

人間にはわからない、ふしぎな動物の世界。

さかさ町

F・エマーソン・アンドリュース/作 ルイス・スロボドキン/絵 岩波書店 2015 933ア

さかさ町にあるものはすべてさかさま。看板に書いてある字も、家もさかさまに建てていて、お店に行けば物はタダなのに、お金がもらえちゃうのです。

リッキーとアンは、このへんてこな町で1日を過ごすことになってしまい…。

ぶどう 小学校高学年

気むずかしやの伯爵夫人

サリー・ガードナー/作絵 村上利佳/訳 偕成社 2007
933カ



5人の人形たちが、ある日突然公園におきざりにされてしまいました。気位の高い伯爵夫人は捨てられたことを絶対に認めず、どうしてもお屋敷に帰ると言い張って、みんなを困らせてしまいます。はたして、伯爵夫人はお屋敷に帰れるのでしょうか？

しずかな日々

椰月美智子/著 講談社 2006 U913ヤ 913ヤ

小学5年生の枝田光輝はおとなしい男の子。

クラス替えで友達になった押野との友情、いっしょに暮らす事になった祖父との関係。光輝にとって自分の世界を広げてくれる周囲の人々との日々が描かれています。

空から宝ものが降ってきた！

伊藤親臣/著 旬報社 2016 J501イ 501イ

冬になると、毎日のように見る雪。ついつい“役に立たない”とか“じゃまもの”と思ってしまいますが、そんなことはありません。雪は「使い方しだいで役に立つ“宝もの”なんだよ」と教えてくれます。

雪への見方が変わる素敵な1冊です。

夢は牛のお医者さん

赤羽じゅんこ/著 宮尾和孝/絵 小学館 2016 649
B649

小学3年生のときに学校で牛を飼ったことがきっかけとなり、知美は「獣医師になりたい」という夢をいただきます。夢をかなえるためにたくさんの努力をした知美の姿に心打たれます。旧松代町（現在の十日町市）で育った少女の本当の物語です。